

令和5年11月29日

宇陀市長 金剛一智様

宇陀市行政改革推進懇話会

会長 鶴谷将彦

第4次宇陀市行政改革大綱実施計画(後期分)の策定について(答申)

第4次宇陀市行政改革大綱実施計画(後期分)について審議した結果、下記のとおり答申します。

宇陀市は、令和元年度決算に基づき、令和2年11月に奈良県から重症警報が発令されました。

その後、行政改革の取り組みが進められ、令和4年11月に重症警報は解除されましたが、宇陀市を取り巻く環境は、人口減少社会の到来や自然災害の激甚化、さらには新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化など、ますます厳しい状況にあります。

再び重症警報が発令されないよう、市民と行政が協力し、限られた資源を最大限活用することで、これまで以上の効果的・効率的な行財政運営を推進していくことが必要です。

第4次宇陀市行政改革大綱実施計画(後期分)の策定に際しては、宇陀市の現状及び将来を見据え、持続可能で質の高い行政サービスの提供を実現するため、審議を重ねてきたところです。

第4次宇陀市行政改革大綱における実施計画は、計画の期間を前期分が令和3年度から令和5年度の3年間と後期分を令和6年度から令和7年度の2年間に分けて取組を進めることとしておりますが、まずは前期分の計画を検証したうえで必要と認められる取組は継続し、「自治体 DX の推進」など時勢に合った取組や「公共施設の利活用」を積極的に進める取組を追加することで後期分の計画策定しております。

今後は、適宜計画の実効性を検証し、必要に応じて実効性の高い内容に修正することと、改革のスピードを遅らせない適切な進捗管理を行う必要があります。

宇陀市の将来は、市政に関わる一人ひとりの行動にかかわっています。

第4次宇陀市行政改革大綱及び実施計画を職員一丸となり、積極的かつ丁寧に取り組むことで、10年、20年先という長期的な視点に立って市民が安心して暮らせる宇陀市となることを希望します。

提出目録

第4次宇陀市行政改革実施計画書(後期分)

宇陀市行政改革推進懇話会委員名簿

職名	氏名	区分
会長	鶴谷将彦	学識経験者
副会長	影山清	学識経験者
委員	山本裕樹	市議会議員
委員	田中剛志	市議会議員
委員	富田英一	公共的団体等の役員
委員	中野利幸	公共的団体等の役員
委員	宮崎充弘	公共的団体等の役員
委員	曾良幸雄	公共的団体等の役員
委員	西岡博文	公共的団体等の役員
委員	中井陽子	公共的団体等の役員
委員	松塚幾善	学識経験者
委員	井上源一	学識経験者
委員	山口武	学識経験者
委員	上田智哉	学識経験者

宇陀市行政改革推進懇話会開催経過

開催日	会議内容等	備考
令和5年8月31日	第1回宇陀市行政改革推進懇話会 ・第4次宇陀市行政改革大綱実施計画案の審議	会場: 宇陀市役所
令和5年11月15日	第2回宇陀市行政改革推進懇話会 ・第4次宇陀市行政改革大綱実施計画案の審議	会場: 宇陀市役所

以上